

広島学セミナー フィールドワーク

(広島学セミナーは広島学講座の個別事業名称です。)

太田川巨木回廊

配布資料

ふるさと広島を育む母なる川ー太田川。

それは人類誕生の遥か以前から

大地を刻んできました。

中でも加計～可部間では山並みを縫って

見事な蛇行を繰り広げます。

そこにはやがて点々と集落が営まれ、

人々は森の恵みに支えられつつ、

そのもとの姿の一片を今日に伝えました。

美しい流れに沿って連なる巨木たち。

自然と人の長い関わりを物語る

地域の風土遺産です。

フィールドワーク「太田川巨木回廊」行程表

場 所	着時間	発時間	内 容	備 考
JR 可部駅バスターミナル集合	9 : 20			
可部駅前バス停発		9 : 35	バス移動	運賃：大人 220 円 子供 110 円
安佐北大橋東バス停下車	9 : 49			
徒歩（15 分）				
筒瀬八幡神社	10 : 15	10 : 45	市指定天然記念物 筒瀬八幡神社の社叢	トイレ有り
徒歩（15 分）				
斜面のケヤキ	11 : 00			
徒歩（25 分）				
宮野八幡神社	11 : 25	11 : 45	宮野八幡神社の社叢 （市指定天然記念物 大エノキ）	
徒歩（5 分）				
河畔のムクノキ	11 : 50			
徒歩（5 分）				
宮野八幡神社一帯で昼食	12 : 00	12 : 40		隣接する公園にトイレ有り
徒歩（5 分）				
斜面のクスノキ	12 : 45			
徒歩（15 分）				
大野神社	13 : 00	13 : 20	大野神社の社叢	トイレ有り
大野バス停発		13 : 28	バス移動	運賃：大人 270 円 子供 140 円
可部駅前バス停着・解散	13 : 50			

参考文献：広島市教育委員会編 「広島市の文化財 第 12 集 広島市の文化財調査報告」 1978／広島市教育委員会編 「広島市の文化財 第 17 集 太田川の水運調査報告」 1981／広島市編 「広島新史 地理編」 1983／日本の地質『中国地方』編集委員会編 「日本の地質 7 中国地方」 1987／広島市教育委員会編 「広島市の文化財 第 39 集 広島市の動植物 広島市希少生物分布調査報告」 1988／山口地学会編 「山口県の岩石図鑑」 1991／建設省中国地方建設局太田川工事事務所編 「太田川史」 1993／戸河内町編 「戸河内町史 自然編」 1997／日本地質学会編 「日本地方地質誌 6 中国地方」 2009／滝口進 「ひろしま県内の「巨樹・老樹・名木」調査」 2010

「太田川巨木回廊」見学ルート（全行程約 6 km）



「太田川巨木回廊」について

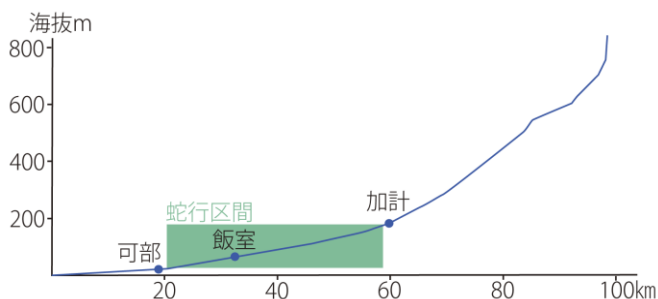
太田川は約 6000 万年前以降、当時の陸地が侵食により平坦化される中で次第に形成されました。加計～可部間の蛇行部は、太田川がその頃の蛇行を引き継ぎつつ、その後起きた陸地の隆起に応じて、長い歳月をかけて地盤のもろい部分を刻んでいったものです。やがて、その曲流部の内側や支流との合流点に形成されたせまい平地などに、数珠つなぎ状に連なって集落が営まれることとなりました。

もともと太田川流域には、常緑広葉樹を中心とした森林などの自然植生が広がっていました。しかし、それらは長い歳月の間に伐採や河川改修などによる人為的な破壊、または洪水などで次第に姿を消し、代わって二次林や植林が森林のほとんどを占める様になりました。

しかし太田川蛇行部の集落では、それぞれに古くから祭られてきた神社の社叢や、水害に対する防護林の役割を果たす川岸の樹木などが点々と守られてきました。こうして太田川蛇行部に、地域の風土が生んだ「巨木回廊」が残されました。

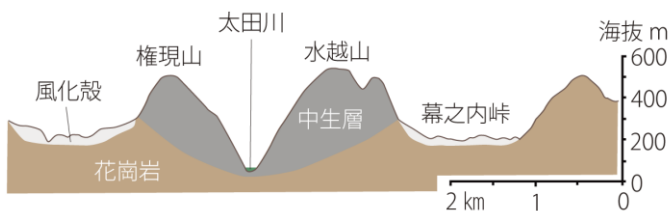
太田川蛇行部の地質・地形的特徴

- 全長約 40 km、直線距離約 20 km（可部～加計間。太田川の全長は約 103 km）
- 可部～加計間の標高差約 150m、上流に向かって距離 300～400mで 1m上昇



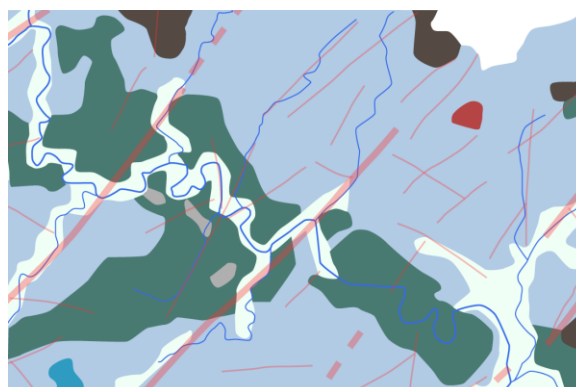
太田川の河川縦断面

- 穿入蛇行
- 谷底幅 200～300m（欠床谷）
- 中世代ジュラ紀に形成された中生層地帯（美濃～丹波帯相当）



太田川中流部の地形断面

- 北東～南西方向に平行する断層による線状地形を横断



- 粘板岩（中生代ジュラ紀）
- 塩基性火山岩類（中生代ジュラ紀）
- 吉舎安山岩類（中生代白亜紀）
- 高田流紋岩類（中生代白亜紀）
- 花崗斑岩・石英斑岩（中生代白亜紀）
- 広島花崗岩類（中生代白亜紀）
- 沖積層
- 断層

太田川蛇行部の地質と断層

- 線状地形の平行する谷を流れる支流が南北から合流
- 淵と瀬が連続

太田川蛇行部の巨木

●巨木のある場所

神社の社叢（古くから神木として大切にされてきました）

筒瀬八幡神社（安佐北区安佐町筒瀬）、宮野八幡神社（〃安佐町宮野）、山崎神社（〃可部町今井田）、大野神社（〃可部町勝木）、風呂崎神社（〃）、大歳神社（佐伯区湯来町下）、厳島神社（安芸太田町穴）、宇佐大元神社（〃坪野）、津浪河内神社（〃津浪）など

河畔（水害に備えた防護林としての役割も考えられます）

安佐北区可部町今井田、安佐北区安佐町宮野・久地の野間平・追崎地区など

ほか寺院の境内、川沿いの急傾斜地、畑地など

●巨木の樹種

現在の森林のほとんどを占めるのは、それまでの森林が伐採や火入れ、または山火事などを受けた後に成立した、アカマツ林やコナラ林といった二次林や植林です。数少ない巨木は、その地域のもとの樹木や森林の姿を伝える重要な証人です。

落葉広葉樹

エノキ、ムクノキ、ケヤキ（以上ニレ科）、ムクロジ（ムクロジ科）、エドヒガン（バラ科）、カキノキ（カキノキ科）など…低温など厳しい季節に応じて全ての葉を落とします。エノキ、ムクノキ、ケヤキは土壌が深いところで生育し、常緑樹のタブノキやアラカシなどとともに河畔付近の森林を構成します。（写真:右/エノキ・左/ムクノキ）



常緑広葉樹

タブノキ、クスノキ、カゴノキ、シロダモ（以上クスノキ科）、シイ類、カシ類（以上ブナ科）、キンモクセイ（モクセイ科）など…厚めで光沢がある濃緑色の葉を常に繁らせます。温暖な気候に適し、広島市一帯の森林の優占種と考えられます。なおキンモクセイは江戸時代に中国から渡来しました。（写真:右/クロガネモチ・左/アラカシ）

常緑針葉樹

モミ、ツガ（以上マツ科）、ヒノキ、スギ（以上ヒノキ科）

…モミやツガは内陸部のやや標高の高いところに適し、森林を形成します。（写真:モミ）



- 常緑樹林
- 落葉樹林
- 植林
- アカマツ林

安佐北区可部町～安佐町飯室間の太田川流域の現存植生（国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所ホームページ掲載の図をもとに作成）

太田川の略年表

約 1 億 8000～1 億 3000 万年前（中生代ジュラ紀頃）

蛇行部一帯の中生層が海溝で形成。

↓

約 1 億～約 3000 万年前（中生代白亜紀～新生代古第三紀）

火山活動が活発となる。

↓

約 1 億年前（中生代白亜紀）～

北東～南西に平行する断層が活動。

↓

約 6000 万年前（中生代白亜紀末）～

浸食で陸地の平坦化が進み、その後太田川が形成。

↓

約 900 万年前（新生代新第三紀）～

中国山地が段階的に隆起。

↓

約 50 万年前（新生代第四紀）～

山陽側の水系が発達。

↓

1624～43（寛永）年間

太田川の船運が坪野まで通じていた。

↓

1628（寛永 5）年

太田川流域の鉄穴流しが禁じられる。
太田川水系の薪船に初めて船運上が課される。

↓

1688（元禄元）年

山県郡太田筋で年 15 万丸の割木を城下へ積下す。

↓

1768（明和 5）年

筒瀬八幡神社本殿が建立。

↓

1797（寛政 9）年

広島藩の絵師・岡岷山が太田川沿いを描く。

↓

明治 30 年代～大正初め

太田川の船運が最盛期となる。

↓

1912（明治 45）年

亀山水力発電所が操業開始。

↓

1935～44（昭和 10）年代

太田川の舟運が終焉。

↓

2005（平成 17）年

台風 14 号で太田川流域に洪水が発生。



太田川の岸に露出する中生層の岩盤



浸食で平坦化が進んだ地形が隆起した中国山地



森林伐採後に成立する二次林（コナラ林）



岡岷山が描いた「幽奈の森」（安芸太田町穴）の現在の様子



太田川中流の穿入蛇行部



平行する断層の谷を流れる太田川支流（西宗川）



市重文筒瀬八幡神社本殿



平成 17 年の台風 14 号を機に整備された堤防（筒瀬）

太田川蛇行部沿いで目にする巨木マップ

太田川蛇行部沿いに連なっている巨木の中には天然記念物に指定されたものや、その種としては県内最大級のものも多くあります。地域の歴史と風土に思いをはせつつ、巨木を訪ねて見て下さい。

〔参考文献〕
広島市教育委員会編「広島市の文化財第39集 広島市の動植物 広島市希少生物調査報告」1988
河本伸征「わが愛するふるさとの巨樹・古木滝紀行」1992
滝口進「ひろしま県内の「巨樹・老樹・名木」調査」2010

左岸の巨木

- 2 河畔のエノキ、サイカチ
安佐北区可部町今井田



- 5 山崎神社の社叢（タブノキなど）
安佐北区可部町今井田



- 9 大野神社の社叢（タブノキなど）
安佐北区可部町勝木



- 10 風呂崎神社の社叢（モミ、ムクノキなど）
安佐北区可部町勝木



- 13 大王権現のスギ
安佐北区可部町勝木

- 19 厳島神社のケヤキ
安芸太田町穴



- 21 宇佐大元神社のキンモクセイ
安芸太田町坪野
安芸太田町指定天然記念物



- 22 大歳神社のムクロジ
佐伯区湯来町下
広島市指定天然記念物



- 23 大歳神社の社叢（エノキ、クスノキなど）
安芸太田町坪野



- 24 つぼの地区交流センター前庭のサクラ
安芸太田町坪野



- 25 地藏堂のスギ
安芸太田町坪野



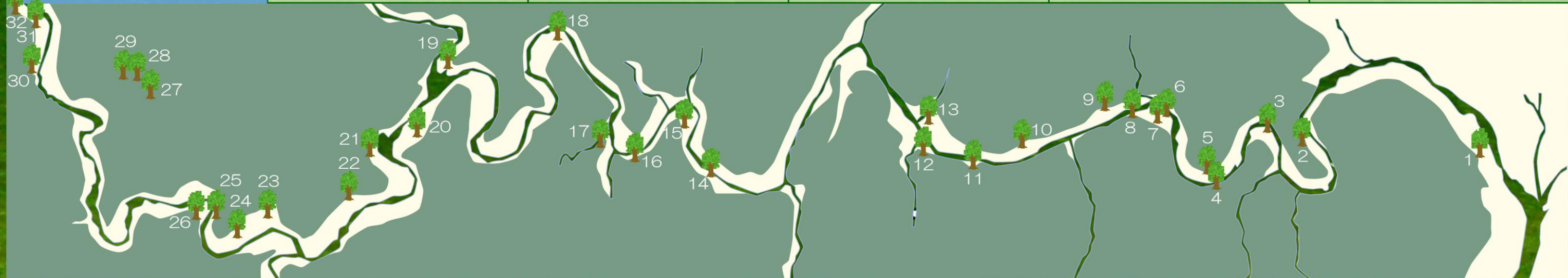
- 27 津浪河内神社の社叢（スギ、カゴノキ、ヒイラギ、ムクノキなど）
安芸太田町津浪
スギ群生は安芸太田町指定天然記念物



- 28 正福寺のキンモクセイ
安芸太田町津浪



- 29 茶屋庵のスギ、ヒノキ
安芸太田町津浪



右岸の巨木

- 1 細野神社の社叢（タブノキ、ムクノキ、エドヒガンなど）
安佐南区八木町

- 3 筒瀬八幡神社の社叢（タブノキ、クロガネモチ、ナナメノキ、エノキなど）
安佐北区安佐町筒瀬
広島市指定天然記念物



- 4 県道沿いのケヤキ
安佐北区安佐町筒瀬



- 6 河畔のムクノキ
安佐北区安佐町宮野



- 7 宮野八幡神社の社叢（イチヨウ、エノキ、ムクノキなど）
安佐北区安佐町宮野
エノキは広島市指定天然記念物



- 8 山林のクスノキ
安佐北区安佐町宮野

- 11 諏訪神社のコジイ
安佐北区安佐町後山



- 12 毛木八幡神社のエノキ
安佐北区安佐町毛木

- 14 県道沿いのタブノキ、ケヤキ
安佐北区安佐町久地



- 15 野間観音の社叢（タブノキ、カゴノキ）
安佐北区安佐町久地



- 16 県道沿いのケヤキ
安佐北区安佐町久地

- 17 観音山のスギ
安佐北区安佐町久地



- 18 河畔のタブノキ、ケヤキ
安佐北区安佐町久地



- 20 程原神社のエドヒガン
安芸太田町穴



- 26 吉ヶ瀬発電所裏山のヤブツバキ
安芸太田町中筒賀

- 30 辻ノ河原のサイジョウガキ
安芸太田町加計
安芸太田町指定天然記念物



- 31 大歳神社の社叢（モミ、スギなど）
安芸太田町加計



- 32 山林のモミ
安芸太田町加計

